

株式会社ディヴェロップ

株式会社ディヴェロップとは？ DX化を進めるにあたって...

株式会社ディヴェロップ 概要・実証計画【1/2】

企業概要

企業名	株式会社ディヴェロップ
所在地	愛知県岡崎市
代表	喜種 将臣
資本金	500万円
従業員数	30人程度
事業内容	一般土木・下水道工事・外構エクステリア工事・宅内下水道接続工事・サッカースクール運営

概要

- 「事業に関わる全ての人に幸福を提供する」を企業理念としてサービスを提供しています。
- サッカースクールの運営も行っており、現在100人以上の生徒がいます。
- チームワークを大切にしながら作業の効率化に努めています。



デジタル化推進の背景

- 現在、アルコールチェックや勤退の管理を**手作業**で行っているが**時間がかかる**上に**ミスがある**ので作業を効率化するため、自動で集計できるDXツールの導入を検討していた。
- アルコールチェックや日報入力を**遠隔**で行い、現場からの直行直帰を可能としたい。
- データの保存、共有を現場で簡単に行い、仕事を**効率化**させたいと考えていた。

実証体制

全体統括	代表
実証統括	総務部(神谷)
実証担当	総務部(喜種)

普段からパソコン作業を行っている総務部が今回のデジタル化実証を担当し、専門的な知識を活かしながらより良い活用方法を研究できるような体制とした。

実証をスムーズに進めるために、デジタル化に強い若い世代が今回の実証に関わる体制を構築した。

デジタル化しやすい分野の効率化、事務ミスの削減、情報共有による作業の質の向上を目指し3つのツールを併用することにしました。

株式会社ディヴェロップ 概要・実証計画【2/2】

最終的にデジタル化で達成したいこと

- アルコールチェックや出勤状況の日報管理をデジタル化して、**仕事の効率を向上させ**一人でする業務量の拡大を図る。
- **遠隔**で情報を入力し、現場からの直行直帰を可能にしたい。
- 情報共有をデジタル化して現場作業を効率化させ**より良いサービスを提供**する。


今回実証で実施したいこと

- アルコールチェックの結果を電子データへ変換、**自動**保存することで、手入力する作業を無くす。
- 勤退管理をデジタル化するツールを活用して、管理の漏れを無くす。
- **遠隔**で情報を管理し、現場からの直行直帰を可能にする。
- 現場の作業内容をデジタルで共有して**作業の質の向上**を図る。


目標とする成果

- アルコールチェックと勤務の打刻を遠隔で行い、直行直帰を可能にする体制を整える。
- 手作業で行う作業を削減し、ミスや作業時間を減らすことを目標とする。
- 情報共有をデジタル化させ現場作業を効率化すると共に作業の質を向上させる。


実証で利用するツール

導入ツール	Alkiller Nex	
導入費用	一台 20,000円 1 ID 18,000円 ※モバイル版登録料（導入時） 1 ID 14,000円 ※モバイル版利用料（年額）	
ツールの説明	➤ 「いつ、どこで、だれが」検知したかがひと目で分かる、クラウド型アルコールチェックサービス	

【導入理由】遠隔で結果をチェックすることが可能なためこのツールが適している。結果を手入力する作業を省ける。

導入ツール	KING OF TIME	
導入費用	1人月額 300円	
ツールの説明	➤ 働き方に合わせた打刻方法（PC、顔認証、指紋認証、ICカードなど）を選ぶことができる勤怠管理システム	

【導入理由】勤退の集計を自動で行うことができ、さらに遠隔で打刻できるため作業の効率化を図れる。

導入ツール	LINEWORKS	
導入費用	フリープラン 無料 スタンダードプラン 1ユーザー 月450円（年契約） アドバンスプラン 1ユーザー 月800円（年契約）	
ツールの説明	➤ LINEの使いやすさはそのままに仕事を支えるビジネスチャット	

【導入理由】簡易的な方法で情報共有ができる上にデータを残せるため作業の質の向上を期待できる。

勤怠管理は全員で始めましたが、アルコールチェックや情報共有はスモールスタートで活用方法を模索しながら拡大していくことにしました。

株式会社ディヴェロップ 実証実施結果【1/4】

解決を目指した具体的な課題

- アルコールチェック結果の手入力を自動化させて入力時間を削減させる。
- 遠隔でチェックを行い直行直帰を可能にする。
- ミスのない正確な勤怠管理を実現させる。
- デジタルで給料計算を行い、作業時間を削減する。
- チャット機能の中でメッセージのやり取りの管理を行い、伝達事項を整理して把握する。
- 重要なやり取りを保存し、見返すことが出来るようにする。

課題解決に向けた具体的な取組内容

Alkiller NEX®

→管理者の負担を少なくするため、代表者 5 名を決めて少人数で使用を開始。

→1日の中のどのタイミングで検知するかなどのルールを設定。(弊社では作業前と作業後に検知)

KING OF TIME

→弊社の勤怠ルールに基づいた設定を行う。

→打刻の仕方を実際に画面を使って動画で社員に説明。

LINE WORKS

→使用しながらルール策定を進めていくため、まずは少人数で使用開始。

それぞれが機能の使用方法を検証し、より良い活用を実現するために意見交換を行う。

ITに詳しくない現場の様々な方に使ってもらうため、最低限の機能から少しずつ使用するとともに、動画、電話、直接対応などで丁寧に対応していきましました。

株式会社ディヴェロップ 実証実施結果【2/4】

——— 実証時に感じた壁および克服のためのアクション ———

Alkiller NEX®

- スマホとつなげて使用するとき、Bluetoothの接続が上手くできない社員が多かった。

- アルキラーのサイトから接続手順の動画をダウンロードし、社員に向けて公開した。
それでも解決しない問題は、ヘルプデスクに問い合わせた。
電話で丁寧な対応をしてくださったので、分かりやすかった。

KING OF TIME

- 年配の方や外国人実習生などは、ログイン画面の開き方などの手順が分からず、すぐに使い始めることが出来なかった。
- 自社の仕事の進め方をキングオブタイムに当てはめることが難しかった。便利な機能が多いがゆえに、全ての機能使おうとするとかえって今までより不便になってしまった。

- 実際の手順を画面録画し、社員に向けて公開した。
それでも分からない方は直接対応した。
- 一度に色々な機能を使うことを辞めて、最低限給料計算に必要な機能のみ使用し、慣れてきたころに徐々に使う機能を増やした。
- キングオブタイムのオンライン講義が利用可能なため、講義を受けて機能と使い方を理解した。
画面を共有して分かりやすい説明をくださった。

LINE WORKS

- LINEと似ているので導入しやすかったが、使用してみると思ったほど機能を使いこなせず、社員に難しいイメージを持たれてしまった。
- 初めは、LINEの方が慣れているのでLINEWORKSがあるのにもかかわらず、LINEでのやり取りをやめられない社員が多くいた。

- まずはチャットのみ使用し、タスクや掲示板は慣れてきてから使うようにした。
使用していく中で意見交換をしなからルールを定めた。
- 代表メンバーが慣れてきた頃に早めに社員全員にLINEWORKSへ移行してもらい、会社のLINEグループを削除しLINEWORKSを開く習慣をつけた。

実証時のリアル 数字にしてみると...

株式会社ディヴェロップ 実証実施結果【3/4】

取組に要した工数

自分たちが取り組んだ時間

【勉強】
それぞれのツールについて調べたり、
オンライン講座を受ける
2日間

【説明の準備】
従業員に説明するための動画
画像をまとめる
1日間

【説明】
従業員に説明する
質問に答える
半日間

計3.5日

従業員が取り組んだ時間

【説明を受ける】
グループに貼られた動画や
画像から使い方を理解する。
30分

【ツールを使う】
日々使い続け慣れるまで
3日間

計3.5日

取組の成果

Alkiller NEX®

【検知結果の確認にかかった時間】

	1日	1週間	1年
使用前	15分	1.75時間	91.25時間
使用后	30秒	3.5分	3.04...時間

- 使用前は検知結果をパソコンに入力していたが、アルキラーはパソコンにデータが送られて記録されるため入力の必要なし！

1年で **約88時間** 削減

KING OF TIME

【給料計算にかかった時間】

	1ヶ月	1年
使用前	4時間	48時間
使用后	30分	6時間

- 従業員も日報を手書きで記録する必要がなくなった為、かなり便利に！

- 現場で打刻できるので、直行直帰が実現できました！

1年で **約42時間** 削減

LINE WORKS

- 掲示板機能を使って3つのツール(アルキラー、キングオブタイム、ラインワークス)の説明を行いました。
誰でも簡単に閲覧できるので、対面で時間をとって説明を行う必要がなくなりました。
- タスク機能を使って、期限付きの仕事を依頼しました。
期限が近いもの順に整理できるので、タスク漏れがなくなりました。

自分たちだけでなく社員の中の協力者、ご意見番との積極的なコミュニケーションが大事 初めは大変でも慣れると存外簡単に使いこなせますので、一緒に頑張りましょう！

株式会社ディヴェロップ 実証実施結果【4/4】

今後の課題・目標

Alkiller NEX®

- 今回の実証期間では出来なかったキングオブタイムと連携し、検知と同時に打刻ができる機能を活用してみたいです。

KING OF TIME

- 機能をさらに活用していき、より作業時間削減に努めていきたいです。

LINE WORKS

- 今回使用できていない機能についても理解を深め、活用していきたいです。
従業員さんによっては機能を使えていない方もいるため、全員が機能を理解できている体制を構築したいです。

削減できた時間を使って、デジタル化についてより深く勉強していきたいです。

今回の実証でデジタル化することにいいイメージが持てたので、積極的に取り入れていきたいと思っています。

(デジタル化を推進する他企業への) メッセージ

デジタル化することに対して様々な意見が出てきますが、それぞれのツールに管理担当をつけ、責任をもって進めていくことでちゃんと活用していけると思います。

社員の中に協力してくれる人や、意見をくれる人を見つけて積極的にコミュニケーションをとっていき、頑張ろう！という意識を保てます。

効率・質の向上を目指して頑張りましょう！

総務部
喜種



総務部
神谷



それぞれツールを導入してみると、思ったよりうまく進められず最初は戸惑いましたが、サポートサービスが付いており、大変助かりました。分からないことは全て相談してみることをお勧めします。

慣れてしまえば案外簡単に使いこなせるので、大変な思いをするのは初めだけだと考えていいと思います。

仕事を効率化するため、一緒に頑張りましょう！